

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	運動学習支援教室ふれんず山王教室	公表日 令和7年 2月 21日			
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団活動が行えるような、死角のない指導員の目が届く一つの空間で療育を行っています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。自動指導員・保育士・理学療法士など児童分野や福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	児童が分かりやすい遊具の配置、活動時には遊具を片付ける等工夫しています。また児童が安心して過ごせるよう床にはマットの段差や手すりの有無がありますが、今現在まで怪我をした子どもや必要とする利用者がいない為、今後必要に応じて時時検討・整備していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃・消毒を行なう清潔な環境づくりを行っています。常時空気清浄機つけ、冬場は加湿器を設置しています。活動スペースは1か所ですが、多目的に使用できるようになっています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、衝立を用いたり、事務室等の別室で対応しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	PDCAサイクルは毎日頃、職員一同が心がけ、午前・午後、事前・事後でミーティングを行っています。また月1で職員会議を実施し、都度月の振り返りや目標の確認を行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者向け評価表や事業所独自のアンケートを用いて、いつもでも意向をうかがえるような空気作りをしています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	月に1回職員会議を実施して意見交換を行い、業務の内容の検討・改善に努めています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	R4年に実地指導が行われ、その指導をもとに業務の改善、向上に努めています。また関係機関や保護者の見学等を実施することで外部の視点や意見を聞く機会を設けています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	オンライン研修に参加したり、療育センターの研修に参加したり、職員の見学を深め、療育に活かすようにしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて支援プログラムの公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	利用に際しての見学・体験時に保護者面談を行いニーズ把握を行っています。来所時に児童の行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。また外部での発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	常時個別支援計画に沿った支援を心がけています。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	発達支援センターや利用機関で行った検査結果をお持ちいただき、発達状況を把握しています。またモニタリングや送迎時に現状のニーズを確認したり、療育の中で行動観察を行い、個別支援計画を作成しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに則した支援内容を個別支援計画に表記しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	課題内容や指導の仕方について日ごと・月ごとに職員間で話し合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動・学習・遊びを利用児童の習熟度に合わせて行えるよう工夫しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	一人ひとりの発達に応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	活動開始前30分程度職員ミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認しています。終了後もミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行って記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	概ね6か月に1度、保護者の方と確認を行った上で見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	開催される場合には、児童発達支援管理責任者・管理者・担当者など、都度選任者を選んで出席しています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	6	0	必要時には関係機関との連携を取っています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行なっているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	移行先や保護者の要望に応じて、会議の実施や保護者を通じての情報提供を行なっています。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	必要に応じて情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行なっているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	児童発達支援センターで発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。また必要に応じて児童発達支援センターが地域に向けた研修を実施した際には参加しています。	
保護者への説明等	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	6	0	事業所内にある保育園との交流を双方のイベント行事等を通じて交流する機会を設けております。	未就学児の交流機会が少ない為、今後要望に応じて一緒に活動する機会を計画実施していきます。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別の課題の時間も設けております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	6	0	フィードバック時に対応の方法等のアドバイスの機会を設けております。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明をしております。また随時不明な点は職員が説明するようしております。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児童と保護者の意向、ニーズを踏まえて作成しています。また設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえて作成しています。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	ファイードバック時に説明する場所を設け、同意を得ています。	
	38 定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	6	0	必要に応じて相談を受け付けています。また定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		今年度保護者会の実施はありませんでしたが、保護者同士イベントの実施で保護者同士が関わる事ができる機会を設けています。保護者会実施の要望があれば、その後検討・実施していきます。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	活動概要や行事予定、連絡を紙媒体のみでなくメールや施設内掲示、HPやSNSを用いて発信しています。	
非常時等の対応	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載された書類は鍵つきのキャビネットに保管しています。	
	43 報告のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	一对一本で用いたり指さす等伝達方法を工夫し、個人個人に合わせてやりやすい方法で伝達するようにしています。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	外部の方々を参加できるイベントの主催や、地域マネジメントの運営等に参加する等、積極的に活動していきます。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感覚症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルの策定は行っており、児童と職員で年3回程度の定期的訓練を実施しております。	今後は周知を兼ねて保護者も交えた避難訓練の実施を検討していく予定です。
	46 美育的計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、撤出などの訓練を行なっているか。	6	0		
	47 事前に服装や予防接種、トイレの使用等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	48 食物アレルギーのあるこども等について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援を行なっているか。	6	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを実施しています。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られているよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しているか。	6	0	活動に基づいた注意喚起や事業所の取り組みを契約時や活動にて周知を行なっています。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	危険な事例があった場合、日々の記録に記載し、ミーティングを通じて職員で共有し、同じことが起きないよう努めています。	
環境・体制整備	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	外部の研修を受ける機会を設けています。また施設内にて虐待防止委員会を設置、研修を定期的に実施し、職員間で支援内容の確認を行なっています。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うについて、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		現在対象児童はおりません。対象児童がいる場合、施設内にて検討が行われます。